

~ 現場からみたシステム業界の景気動向レポート~

2009年10月23日

## 一部では案件復活の動きがあるも依然厳しい状況 プロジェクトマネージャなどの引合いはほとんどない

株式会社ビーブレイクシステムズ

ビーブレイクシステムズが様々な現場で感じたシステム業界における現在の景気動向を、現場目線で定期的に発信します。

## 【システム業界全般について】

下半期の大幅な需要改善は現時点では見込めていない状況ですが、一部では中断していたシステム開発案件の復活や追加の開発などが行われるようです。そのため、以前よりユーザの新規開拓を行い、ユーザ数も案件数も多く抱えているシステム関連会社は、復活案件や追加開発案件を引き受けることができるため、業績の回復の兆しが出てきています。しかし、これまで下請ビジネスのみ行っていたり、限られたユーザ企業のみのシステムに携わっているようなシステム関連会社は案件の数自体が依頼元の企業の業績に大きく左右されるため未だ業績が回復しないことも多く、これまで行っていなかった新規開拓を始めるケースもあるようです。

また 8 月頃より企業の I T投資に関する検討が本格化しシステム関連会社への引き合いが増えていましたが、10 月に入って引き合いが減ってきたように感じます。この理由は二つ考えられ、ひとつは、企業が自社の業績が横ばいもしくは上向いてきたと判断し導入を決断したケースと、もう一つは景気が思ったより回復しておらず下半期以降の自社の業績回復が見込めないと判断し、 I T投資を中止することに決めたケースがあります。この二つのケースを比べると後者が多いように感じています。

## 【エンジニアについて】

エンジニアの単価は前年と比較して二割減という状況が続いています。エンジニアの案件に関しては、 これまではまずスキルの条件が提示されたあとに単価条件が示されることが多かったのですが、最近では まず単価条件を提示されることが多くなっていると聞きます。

エンジニアの需給状況については、現在、プログラマ(PG)の需要はそれなりにありますが、プロジェクトマネージャ(PM)やプロジェクトリーダー(PL)の需要はほとんどない状況です。この要因のひとつには、プロジェクトの数自体が減少して元請会社のプロジェクトマネージャやプロジェクトリーダーが余剰しているため、他会社に依頼しなくても自社要員で賄えるという状況があるようです。

株式会社ビーブレイクシステムズ 会社概要

住所:〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-19-3 五反田第一生命ビル

設立:2002年7月 資本金:6,000万円 代表取締役:白岩次郎

事業内容:戦略的業務管理システム「MA-EYES」等のパッケージ販売や、システムの受託開発。

URL: http://www.bbreak.co.jp/

## 【本レポートに関するお問い合わせ先】

株式会社ビーブレイクシステムズ 担当:木塚、岡部

TEL: 03-5487-7855 / FAX: 03-5487-7854 / E-MAIL: info@bbreak.co.jp